

# 麻疹(はしか)に注意!

近年、関東地域の大学生間で大流行がみられたように、麻疹は10代後半から20代前半の若年青年期集団で流行が懸念されている病気です。例年4月から6月に発生が多いとされており、新学期が始まりキャンパスに多くの学生が集まるこの時期は、より一層、麻疹の予防に心がける必要があります。

## 【麻疹ってどんな病気?】

麻疹は、発熱と発疹を主徴とするウイルス性発疹性疾患です。感染力は極めて高く、空気・飛沫(くしゃみや咳)・接触感染とさまざまな経路で起こる病気です。麻疹に対して免疫がない人が感染した場合、10日前後の潜伏期間を経て発症します。

### ●症状

**カタル期(3~5日間)**: 38℃前後の発熱、咳、鼻水、結膜充血がみられ、特有の灰色の小斑点(コプリック斑)が口腔粘膜に出現します。

**発疹期(4~5日間)**: 一旦解熱するが、再び高熱となり、赤い小さな発疹が、耳の後ろから顔面に出始めて次第に手足に広がります。

**回復期**: 発熱はおさまり、発疹は色素沈着を残して消退します。

### ●治療

特效薬はなく対症療法です。稀ですが、重症な場合は肺炎や脳炎を起こし、死亡します。

## 【どうやって予防したらいいの?】

麻疹予防には**予防接種が有効**です。母子手帳などにより罹患歴、予防接種歴を必ず確認してください。麻疹に罹患したことがなく、ワクチン未接種あるいは1回しか接種していない人は、近隣の医療機関で抗体検査を受けて、ワクチン接種の必要性をチェックし、ワクチン接種を受けてください(2006年の予防接種法改正により、**麻疹の予防接種は2回接種**となりました)。発病者と接触後、3日以内にワクチンを接種することで、発病が予防できる可能性があります(予防接種の受けられる医療機関については各地区保健管理センターに問い合わせして下さい)。また、普段から**うがい**、**手洗いの励行**を心がけましょう。

## 【もし、麻疹を疑わせる症状がみられたら…】

大学への登校を控え、すみやかに医療機関を受診してください。なお、医療機関を受診する際は、事前に「麻疹の疑いがある」ことを電話で伝えてください。保健管理センターへ相談する場合も同様に、**直接受診せずに、まず電話**で症状を伝えて下さい。

また、医療機関で麻疹と診断された場合は、保健管理センターに電話で報告して下さい。

〈連絡先〉 (吉田地区) ☎: 083-933-5160  
(常盤地区) ☎: 0836-85-9041  
(小串地区) ☎: 0836-22-2081

発疹出現後5日間は感染力があり、学校保健法においては解熱後3日間を経過するまで登校停止です。外出もできる限り控えてください。登校できるかどうかは、医療機関の指示に従ってください。